

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

交流推進課（内線：7 1 2 2）

1 目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ロシア沿海地方交流推進事業	8,760	1,557	7,203				8,760	
トータルコスト	2 1, 6 6 9 千円（前年度：6, 5 2 8 千円）〔正職員：1. 6 人〕							
主な業務内容	沿海地方との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料の翻訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体の支援、来県者への随行、通訳等							
工程表の政策目標(指標)	交流地域相互に提案した事業の実施及び支援 北東アジア地方政府サミットのフレームを活用した研究・検討や事業実施							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>沿海地方及び鳥取県において相手地域に対する認知度をアップさせ、幅広い分野における交流を推進するため、各種交流事業を実施する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 事業費 8, 7 6 0 千円</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>ア「ロシア沿海地方における鳥取県文化デイズ」 日本の伝統文化（着物、書道など）や伝統芸能等をPRする団を派遣しPRイベント及び交流事業を実施することにより、「日本＝鳥取県」のイメージをロシア沿海地方住民に抱かせる。 ・派遣人数 1 5 名まで（1 1 月ごろ実施予定）</p> <p>イ「鳥取県における沿海地方週間」 ロシア沿海地方の民俗舞踊団による公演、少数民族文化紹介、マトリョーシカ展示会等を県内で集中的に実施するとにより、鳥取県民にロシア沿海地方文化に親しんでもらうとともに、両地域の交流を深める。 ・実施時期 1 0 月ごろ</p> <p>ウ「ロシアから鳥取県への受入事業」 ロシア沿海地方から、スポーツ交流団（バスケット、バドミントンなど）、マスコミ訪問団等を受け入れることにより、相互理解の促進、鳥取県のPRにつなげる。 ・受入人数 1 5 名まで（年6回実施予定）</p> <p>エ「鳥取県からロシアへの派遣事業」 平成2 1 年度に引き続きロシア沿海地方へ鳥取県から剣道交流団を派遣する。 ・派遣人数 1 5 名まで（8 月ごろ実施予定）</p> <p>オ「ロシアに関する講習会」 講師を招へいしてロシア料理講習会、ロシア民俗楽器講習会を実施（年2回）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>鳥取県立図書館とゴリキー図書館及びロシア沿海地方児童図書館との図書交換（1995 年～）、新体操交流（2004 年～）、青少年バドミントン交流（2006 年～）など長年にわたる交流事業の実施により、沿海地方と相互理解及び友好関係を深めてきた。平成2 1 年度はウラジオストクにおいて「ロシア沿海地方における鳥取週間事業」を実施し、沿海地方における本県の知名度を高めた。</p> <p>また、鳥取県で実施されるロシア沿海地方の複数の文化交流事業について、「鳥取県における沿海地方週間」として集中的に実施することで、効果的、効率的に交流を推進する。</p>								